



みんなが愛する かわまちづくり

古 古くから狩野川は、水害を引き起こし暴れ川と呼ばれる一方で、私たちの生活を支える母なる川でもありました。かつての子どもたちは、日常的に『かわ』で遊んでいました。そして、狩野川を中心に、『まち』は栄えていました。こうした狩野川との親密な関係を

復活させて地域の活性化を目指す『かわまちづくり』は、河川管理者と市、地元住民その思いに賛同した民間事業者により実現した官民連携プロジェクトです。4者の熱い思いが、かわまちの整備に生かされています。そして、これらのかわまちスタイルを体験するのは、市民の皆さんです。皆さんが『川の駅 伊豆城山』を訪れ、楽しめば、かわまちはさらに発展していきます。かつて、誰もが水辺で遊んだあの頃のように、皆さんもかわまちを愛してください。

『楽しい』が『楽しい』を呼ぶ

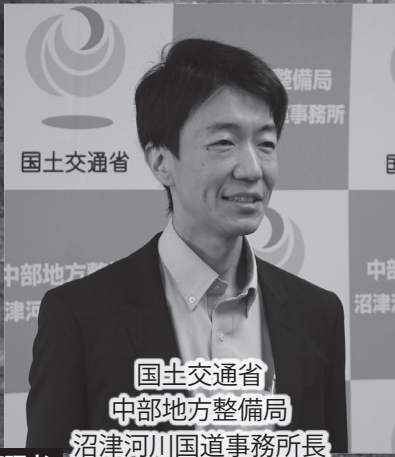
私たちが『川の駅 伊豆城山』を営んでいくためには、狩野川を一番よく知る地域の皆さんの力が必要不可欠です。皆さんの知識や意見を反映させながら、『日本一のかわまち』を育てていきたいと考えています。この川の駅は、『景色・アクセス・遊びやすさ』という3つの強みがあります。「ここで楽しんだ誰かが、また違う誰かを呼んで、たくさんの方が集まる」、そんな好循環が生まれる場所を目指したいですね。



公園指定管理者 代表取締役社長
おおたけ ひろたか
大竹 弘孝

水辺をいかしたまちづくり

国土交通省の『かわまちづくり』支援制度は、地域の資源や知恵をいかして、市と民間事業者、地元住民、河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す制度です。水源地から河口まで変化に富んだ表情をもつ狩野川は『かわまちづくり』に適した河川です。『川の駅 伊豆城山』が、近隣の川の駅や道の駅などの地域の観光拠点と連携して、まちの活性化につながることを期待しています。



河川管理者
国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所長
からしま とおる
辛嶋 亨

世界に愛される『かわまち』に

10月1日(日)、伊豆の国市のシンボルの一つである城山の目の前に、ついに『川の駅 伊豆城山』がオープンします。この広大な河川空間を、市民の皆さんだけでなく、市外や県外、さらには海外の皆さんに愛される『かわまち』にするためには、近隣市町も含めた行政と民間の連携が必要です。この川の駅を、伊豆半島全体を盛り上げていくための新しいプラットフォームに育てていきましょう。



公園設置者 伊豆の国市長
やました まさゆき
山下 正行

自転車で体験する地域の魅力

私たちは、『道の駅 いずのへそ』に、ロードサイクルの拠点であるMERIDA X BASEを持ち、この『川の駅 伊豆城山』には、新たに、オフロードバイクとマウンテンバイクの遊び場であるオフロードコースとパンクトラックを設置しました。この川の駅が、サイクリングのメッカとされる狩野川流域の一大スポットになればと思っています。自転車だから体験できる伊豆の魅力をここから発信していきたいです。



オフロードコース 指定管理者
メリダジャパン(株) 代表取締役社長
ふくだ さんじ
福田 三朗

狩野川神島公園
『川の駅 伊豆城山』
住所 / 伊豆の国市神島 141-4
駐車場 / 河川敷に 100 台完備
☎ 都市計画課 ☎ 055-948-2909



Instagram



Facebook



公式HP